

教育研究評議会議事録（第202回）

日 時：令和3年 5月27日（木） 15時00分～16時50分

場 所：オンライン会議

出席者：小川、藤代、喜多、水野、佐々木、比屋根、藪、宮本、山本（欣）、横山、宇佐美、八代、伊藤、上村、田代、宇塚、関野、境野、丸山、松岡、山本（昭）、鎌田、清水、長田、大石、船崎、村上、小藤田、山下

配付資料

- | | |
|---------|--------------------------------------|
| 議題1 | 国立大学法人岩手大学 第4期中期目標・中期計画及び事業素案について（案） |
| 議題2 | 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書等について |
| 報告1 | 研究業績の分析結果（中間報告） |
| 報告2 - 1 | 教員人事に関する報告について（理工学部） |
| 報告2 - 2 | 教員人事に関する報告について（農学部） |
| 報告3 | 学長・副学長会議報告（第203回～第204回） |
| 報告4 | 危機管理委員会議事録等（第23回～第27回） |
| 報告5 | 令和3年度入試委員会（第1回）記録 |

議事に先立ち、前回議事録について、原案のとおり議事録を確定することとした。

議 題

1. 第4期中期目標・中期計画の作成について

学長から、第4期中期目標・中期計画の作成について諮る旨が述べられ、藤代理事から、資料に基づき、文部科学省との事前相談の結果等を踏まえながら各担当役員を中心に修正した案について意見交換を行いたいとの提案があった。また、6月16日（水）に2回目の文部科学省との事前相談が予定されていること、今後、素案を提出する7月末まで本会議で審議していきたいとの付言があった。

次いで、藤代理事から（教育研究）について、佐々木理事から～（業務運営等）について中期目標大綱項目ごとに説明があり、藤代理事から、6月の本会議には、空欄になっている部分の「評価指標」も記入して示し、現状分析や根拠に基づく具体的な施策を併せて説明する予定であるとの付言があった。また、5月14日（金）までに提出頂いた「岩手大学ビジョン2030」のロードマップをまとめたので、第4期中期目標・中期計画の作成と併せて、重複部分の整理や実現の可能性を検討しながら同時に進めていくとの説明があった。

審議において、次の質疑応答が行われ、次回以降も継続審議とすることを確認した。

・「岩手大学ビジョン2030」のアクションプランは、目標を達成するための手段と位置づけて合意形成のもとに策定を進める。

- ・ リカレント教育は「社会人の学びの支援」という意味なので、「社会人育成」という表記は再度検討する。また、実施体制については、各部局で特色を生かせる場合と全学的体制とした方が良い場合もあるので、「岩手大学における生涯学習指針」の改訂も含めて今後検討する。

- ・ 「産業動物関連教育（獣医・畜産学）」として、今まで検討してきた「獣医学教育」に「畜産学」も含めて、獣医を中心とした「食」に関する分野の充実を図ることを考えている。また、組織変更の際に獣医の学生定員増は難しいことが予想されるため、柔軟に対応できるような表記にした。

- ・ 授業は「対面」が原則であるが、今後も遠隔授業はなくなると想定し、コロナ禍でICTを使った実績を生かして遠隔授業の充実を図る。

- ・ 「総合科学研究科の専門教育の高度化を図る。」は削除する。

- ・ 特色ある研究分野への支援は、既に進められている研究には外部資金の獲得について支援し、新規のものは最初の3年間について先進センター（仮称）が支援を行うことを考えている。

- ・ 若手教員採用比率向上の施策は、中堅の昇進が滞るなどの問題点や外部の知をどのように入れていくかなどの課題があり、「講師」採用の可能性などを含め今後も検討する。

- ・ ②共同利用機器の利用促進は、老朽化している機器など利用実績増を見込めないものもあるため、多くの人が使え器の充実と併せて現場の保守を担当する技術職員等の意見も聞きながら進める。

2. 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書等について

学長から、令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書等について諮る旨が述べられ、次いで、藤代理事から、資料に基づき、各部局等から報告された取組状況を評価室でまとめ、令和2年度年度計画の達成状況（案）及び業務の実績報告書（案）を作成したので確認頂きたいとの依頼があり、意見がある場合には6月7日（月）まで報告することとした。

また、藤代理事から、昨年10月22日開催の本会議へ報告した際に「未達成」としていた項目の進捗状況について説明があり、引き続き取り組んで頂きたいとの依頼があった。

3. その他

なし

報 告

1. 研究業績の分析結果（中間報告）について

藤代理事から、資料に基づき、研究業績の分析結果（中間報告）について、エルゼビア社のデータと研究者データベースの論文数のデータを比較してまとめたので、第4期の計画を立てる際の参考にして頂きたいとの報告があった。

2. 教員人事に関する報告について（理工学部、農学部）

教員人事について、資料に基づき、理工学部長から1件及び農学部長から1件の報告があった。

3. 学長・副学長会議報告について

資料のとおり。

4. 危機管理委員会報告について

学長から、資料に基づき、岩手大学危機管理委員会（第23回～第27回）の審議内容について報告があった。「学生の入構禁止」について、「学生の不利益にならないような柔軟な対応」とはどのような対応だったのかとの質問があり、学長から、部局長等に相談があった場合には個別に判断して頂いたとの説明があった。

5. 入試委員会報告について

資料のとおり。

6. その他

テニュアトラック教員スタートアップ支援経費の削減に関して質問があり、水野理事から、担当課で議論を始めたところであるので、結論まで時間を頂きたいとの説明があった。

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の6月24日（木）の15時から開催することが述べられた。